

あかるいまち21

No.1293 2020年1月30日組員活動推進課 082-532-1264

	1月累計	2019年度
組員ふやし	93人	1179人
出資金ふやし	963.6万円	9791万円
純増	376.9万円	749万円

「NPT再検討会議」学習会



1月24日（金）理事会社保委員会、職員社保委員会共催で原水協代表理事の神部泰氏を迎えて「NPT再検討会議の意義 核兵器のない世界をどう実現するか」をテーマに学習会を行いました。職員、組員で37名の参加で会場は熱気につつまれました。神部氏の話は、新聞記事も使いながら、NPT再検討会議とはどういう内容か、また核兵器禁止条約の意義にも触れながら、核兵器禁止・廃絶をめぐって、逆流はあるが、核兵器廃絶に向けての大きな流れとなっているとの話でした。また、代表である、新谷美樹子さん、下久保真人さんからは、力強い決意表明もあり、最後に片岡実行委員長より資金集めや学習会の推進などの行動提起がありました。参加者からは「たいへん明快で希望のもてる話でした。被爆地広島私たちの使命とも責任とも思えた学習になりました。」「NPT再検討会議について理解できました。」「核兵器廃絶はここで働く私の目標、意義でもあり私にもできることはしたいです。」など感想が出されていました。



意義にも触れながら、核兵器禁止・廃絶をめぐって、逆流はあるが、核兵器廃絶に向けての大きな流れとなっているとの話でした。また、代表である、新谷美樹子さん、下久保真人さんからは、力強い決意表明もあり、最後に片岡実行委員長より資金集めや学習会の推進などの行動提起がありました。参加者からは「たいへん明快で希望のもてる話でした。被爆地広島私たちの使命とも責任とも思えた学習になりました。」「NPT再検討会議について理解できました。」「核兵器廃絶はここで働く私の目標、意義でもあり私にもできることはしたいです。」など感想が出されていました。

「いのちの章典」実践交流会会場いっぱい92名！！

1月29日（水）「いのちの章典」実践交流会が行われました。組員47名職員45名が集い、ミニ学習講演と5つの活動報告、後半はグループ交流を行いました。ミニ学習講演「SDGs」について（講師：広島県生活協同組合連合会の高田専務理事）は、冒頭でSDGsクイズ10問が出題され、世界基準で見た貧困や格差・健康・気候変動問題などがどのくらいの割合で進んでいるか具体的な数字で示され、「エスディーズ」というややこしいテーマが一気に身近になりました。感想にも、「もっとSDGsの学習がしたい」「SDGsクイズが一番良かった」など大変好評を得た学習会でした。活動報告は「笑いケア道場一年の振り返り」「福島生協病院リハビリテーション科の取り組み」「安芸中央支部いきいき支部活動」「生協わくわくぱーていーの発展」「訪問看護ステーションコープはつかいちの活動報告」が行われ、どれも活発でいきいきとした素晴らしい内容でした。今回は非常勤職員研修にも位置付けられていたので、約半数が職員でしたが、職員の感想には、「組員さんの交流は大変楽しかった」「いろんな立場の人と意見交換で来てよかった」「地域の人とのつながりは重要だと思った」など、グループ交流が好評のようでした。

